

Good Governance Voice 2024



Good Governance Voiceとは

「信頼ある非営利組織」として日本非営利組織評価センターのグッドガバナンス認証を取得した団体をご紹介します。寄付をしたい、ボランティアとして参加したいという市民や企業の方が、応援したい団体を見つけることができるガイドブックです。

グッドガバナンス認証とは

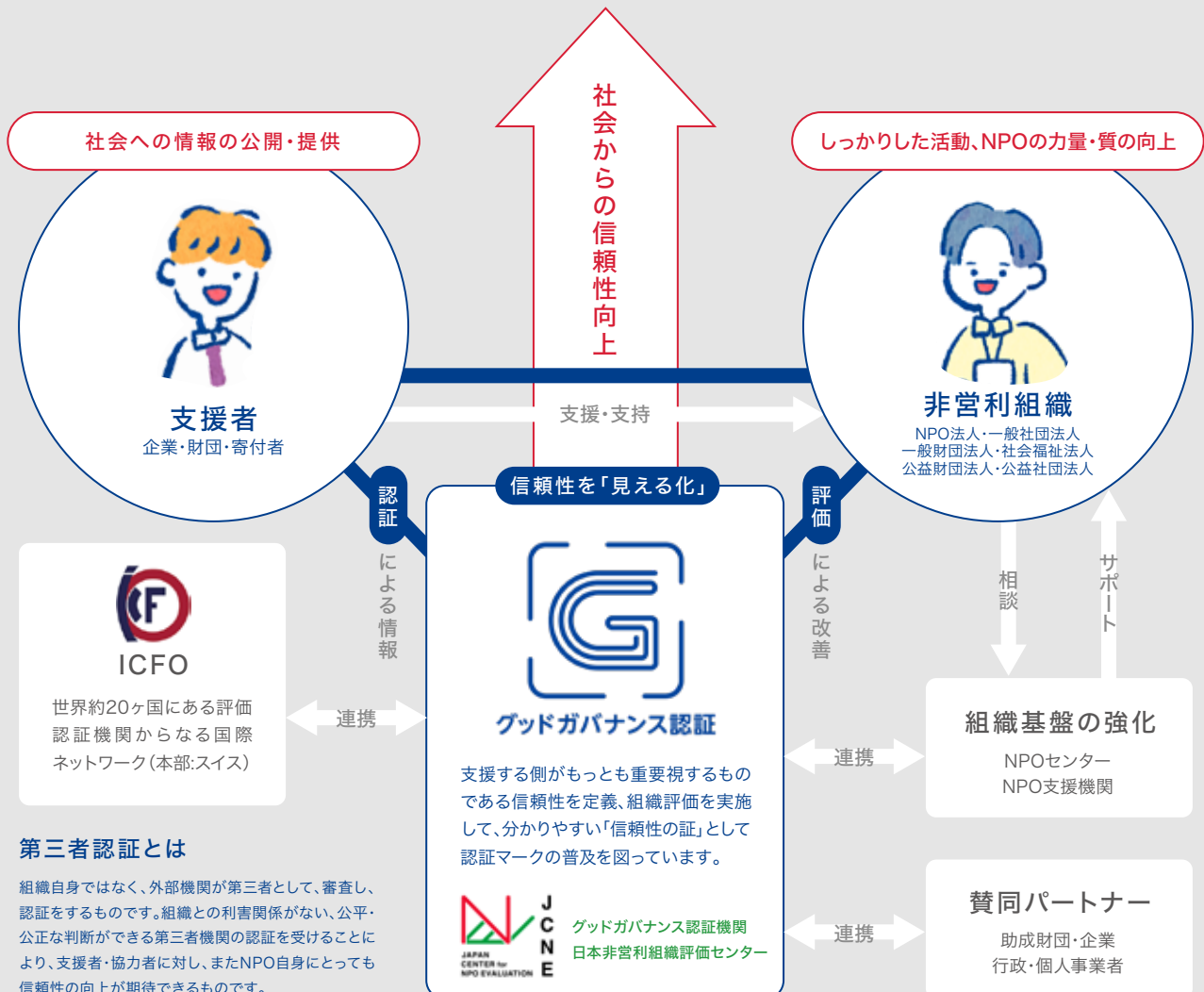
NPOが信頼性を高め、幅広い支援を継続的に獲得できる社会へ



グッドガバナンス認証

信頼性とは漠然としたものです。けれども、支援する側が最も重要視するものであり、信頼性を定義し、説明できる形が求められています。わたしたち非営利組織評価センターはNPOの組織評価を実施し、支援者とNPOの架け橋として分かりやすい信頼性の証「認証マーク」の普及を図っています。信頼性が見える化することで、NPOが幅広い支援を継続的に獲得できるよう手助けをする仕組みです。

非営利組織の信頼性向上につながるグッドガバナンス認証制度のしくみと活用



第三者認証とは

組織自身ではなく、外部機関が第三者として、審査し、認証をするものです。組織との利害関係がない、公平・公正な判断ができる第三者機関の認証を受けることにより、支援者・協力者に対し、またNPO自身にとっても信頼性の向上が期待できるものです。

日本非営利組織評価センター(JCNE)は、非営利組織の組織評価を行う日本で初めての第三者審査機関です。

信頼の要素

グッドガバナンス認証、それは非営利組織の「信頼性」を意味します。「学びと創造」「市民参加と連携・協働」「社会的責任と信頼」「自立と自律」の4領域28基準について、書面評価と訪問評価を行います。28基準をすべて満たし、認証審査委員会の審査を経てグッドガバナンス認証が取得できます。28基準には財務が健全である、労務管理は法律に準拠している、不正を防止する仕組みがあるなどの視点が含まれています。

https://jcne.or.jp/evaluation/good_governance/



中長期的な
計画に基づき
運営を行っている

財務が健全である

寄付金の使途を
報告している

労務管理は
法律に準拠している

不正を防止する
仕組みがある

※寄付募集・雇用を行っていない団体は、一部の基準を除外して評価・認証をしています。



NPO法人 麦わら屋

前橋に根ざした障がいを持つ方の福祉サービス事業所

認定NPO法人 ほっとすぺーす・つき

つながる優しさ × みんなの居場所=ほっとすぺーす・つき

認定NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい

生活困窮者支援、その現場からとどける政策提言

認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・東京

寄付に託された想いを実現、「知的障害のある人たちにスポーツを

一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会

人生の最後を穏やかに「看取る」、援助者養成事業を全国で

認定NPO法人 マドレボニータ

産前・産後のケアで、健やかな体と心を「エンパワー」

NPO法人 Fine

“不妊の悩み”を“特殊な問題”にしない

認定NPO法人 心のおしゃべり音楽工房

音楽療法で「心が共感できる音」を見つける

認定NPO法人 D-SHIP32

パラスポーツをもっと身近に。障害者と健常者の「架け橋」をつくる

認定NPO法人 静岡市障害者協会

断らない相談と取り残さない支援

NPO法人 地域福祉サポートちた

愛知県知多市で、地域の福祉を支える NPO の輪を広げる

NPO法人 りんりん

愛知・半田市で 20 年以上にわたり地域に根付く福祉事業

NPO法人 ゆめじろう

愛知で高齢者・障害者の「ふつうの暮らし」を守り、広げる

NPO法人 HA-HA-HA

障がい児の発達から就労まで、三重県で長期的な支援続ける

社会福祉法人 倣襄会

同志社創立者の新島襄の想いを現代に繋げる地域貢献

社会福祉法人 松花苑

活動歴60年、障がいのある人にも「あたり前の生活」を

社会福祉法人 京都基督教福祉会

キリスト教福祉の実践者として、11の施設で社会福祉に貢献

社会福祉法人 みねやま福祉会

人権尊重の福祉サービス、理念は戦後・京都の乳児院から

社会福祉法人 山城福祉会

障がいを持つ方の「できる」を伸ばす/京都で就労支援

社会福祉法人 秀孝会

利用者に寄り添う「自己決定や自己選択のできる」施設へ

社会福祉法人 宇治福祉園

宇治市で「いのちをたいせつにする」認定こども園と福祉事業

NPO法人 京都フォーライフ

障がい者が自信と誇りを持って働ける場所

認定NPO法人 プール・ボランティア

障害者も高齢者も楽しく泳げる一水の中のボランティア

認定NPO法人 さわか千の里

兵庫・川西市で「困った時はお互いさま」の精神で高齢化社会を支えあう

NPO法人 市民後見ひょうご

人権と財産を守る「成年後見制度」を兵庫から発信

社会福祉法人 壽光会

認知症の人を見守る、地域に根付いた福祉施設

認定NPO法人 オリーブの家

DV・虐待被害者等の女性や子どもの保護シェルター、岡山で心のケア

認定NPO法人 日本IDDMネットワーク

不治の病「1型糖尿病の根絶」を目指す

認定NPO法人 ホームホスピス宮崎

終のすみか「かあさんの家」で過ごすあたたかい暮らし

NPO法人 みやざき子ども文化センター

すべての子どもがのびやかで豊かに生きられる社会へ

p.24 ~

環境保全やまちづくりを行っている団体



一般社団法人 Teco

福島県・いわき市で「町に住まう喜び」をつくる

認定NPO法人 えどがわエコセンター

東京・江戸川区を日本一のエコタウンに／持続可能な地域社会へ

NPO法人 エヌピーオー・フュージョン長池

公園を利活用した地域住民の自己実現や協働の場づくり

認定NPO法人 日本ジオパークネットワーク

日本のジオパークの「質」を高める/地域へも情報発信

NPO法人 離島経済新聞社

日本の約400島ある有人離島の自然・文化・人々を守る

認定NPO法人 びわ湖トラスト

進め「びわ湖はっけん号」! 滋賀から次世代科学者ぞだてる

認定NPO法人 自然再生センター

島根の「ふるさとの水辺」専門家と市民がともに創る

NPO法人 三段峡一太田川流域研究会

広島県の三段峡を、体験と学びの「野外博物館」に

p.29 ~

人と動物の共生支援を行っている団体



認定NPO法人 人と動物の共生センター

人も動物も、共により良く生きる社会を目指して



一般社団法人 シェア・ザ・プラネット
NGO支援でグローバルな社会問題に立ち向かう

認定NPO法人 アジアキリスト教教育基金
 Bangladeshの子どもたちに教育支援を続けて30年

一般社団法人 サステナブリッジ
ミャンマーで職業訓練、貧困と格差のりこえる

NPO法人 関西国際交流団体協議会
NGOの祭典「ワン・ワールド・フェスティバル」30年つづく

認定NPO法人 地球市民の会
佐賀からアジアを考える、世界平和と地域社会に貢献



認定NPO法人 子どもと文化のひろば ぶれいおん・とかち
「あそぶ」「つながる」「育ち合う」0才からの多世代の居場所

認定NPO法人 盛岡ユースセンター
子ども達に「大丈夫!」を届けるフリースクール

認定NPO法人 こども∞感ばにー
プレーパークを石巻から全国に 子どもに遊び場と「居場所」を

NPO法人 やっぺす(旧:石巻復興支援ネットワーク)
石巻の「お母さん」たちによるまちづくり、震災以来10年続く

認定NPO法人 Switch
若者の就労相談やメンタルヘルスサポートでwell-being-lifeを実現へ

NPO法人 寺子屋方丈舎
会津若松市で子どもと大人が学びあうフリースクール。「できる」を大事に経営

NPO法人 食育研究会Mogu Mogu
目の前の食べ物の、その向こうが想像できる人を育てる

認定NPO法人 育て上げネット
若者の「働く」と「働きつづける」を応援する

認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
こども食堂の支援を通して誰もとりこぼされない社会を目指す

一般社団法人 ことば
若者と小学生の異世代交流、子どもたちに希望をつなぐ

認定NPO法人 Teach For Japan
教師の育成を通じて、教室から日本や世界を変える

公益財団法人 日本財団ボランティアセンター
新たなボランティアカルチャーを創造し、自分と向き合う

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会
音楽がつなげる豊かな人生

NPO法人 じぶん未来クラブ
子どもたちの「やってみよう」が未来をつくる

NPO法人 あそびと文化のNPO新宿子ども劇場
すべての子どもたちに あそびと文化体験を!

公益財団法人 ハーモニセンター

思い出すだけで胸が熱くなる体験を

認定NPO法人 キーパーソン21

わくわくエンジン®発見中!

NPO法人 とよなかESDネットワーク

大阪府・豊中市で学びサポート、ESDは地域から

NPO法人 兵庫子ども支援団体

明石市で塾に行けない子どもらへの学習支援、「生きる力」育む

NPO法人 こども未来ネットワーク

心はずむアート体験 鳥取県で0歳から文化に触れる

認定NPO法人 ポケットサポート

入院や療養で生じた、教育・体験の「空白」を埋める

認定NPO法人 ハーモニーネット未来

安心して暮らせる地域づくりを推進

認定NPO法人 こどもステーション山口

山口県の子どもの舞台芸術を届ける「こころ」の支援

認定NPO法人 もりのこえん

人も自然も美しい上天花町で、豊かに育つ子どもたち

認定NPO法人 わははネット

香川から全国へ、「子育てをもっと楽しく、親子の声を社会に伝える」

認定NPO法人 とす市民活動ネットワーク

佐賀・鳥栖市で「木育活動・森林保全」と市民活動団体の支援

NPO法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい

全ての子どもたちに居場所を／「地域孤立ゼロ」目指す

p.47 ~

NPO支援を行っている団体



認定NPO法人 茨城NPOセンター・commons

茨城にセーフティネットと市民社会をともに広げよう

認定NPO法人 消費者スマイル基金

「公正な市場」にかける想い、消費者団体の活動を支える

認定NPO法人 日本ファンドレイジング協会

日本で「寄付」「社会的投資」が進む社会を実現したい

NPO法人 アートコラールきくがわ

静岡県菊川でアート支援、まちのつながりを創出

NPO法人 きょうとNPOセンター

京都の地縁を大事に：企業・行政・NPOが協働する地域活動

NPO法人 ひろしまNPOセンター

災害や社会課題解決へ、中国地方の NPO ネットワーク活かす

NPO法人 やまぐち県民ネット21

山口県の中間支援組織/行政とNPOなどをつなげる

一般財団法人 ちくご川コミュニティ財団

筑後川関係地域の市民のための民間プラットフォーム

公益財団法人 佐賀未来創造基金

人とお金を社会の必要なところへ循環、佐賀の未来に繋げる

NPO法人 Fineネットワークながさき

長崎県のNPO・行政・企業をつなぐ情報ネットワーク



群馬県

<http://mugiwaraya.or.jp>

NPO法人 麦わら屋



Voice 利用者の保護者

数年前から麦わら屋に通所している利用者さんの保護者の方に「すごいじゃない！今まで以上に安心して子どもを通わせられるし、同じような障がいを持ったお母さんたちの自慢できるわ！」とおっしゃっていただきました。障がいをもった方は自分の気持ちを相手に伝えることが苦手です。閉鎖的になりがちな事業所なので、地域に開きもっと外部の目が入りやすい環境にしていきたいです。

主な活動内容

麦わら屋は2015年から障害者総合支援法に基づいた就労支援サービスを主に行っています。多様な内容の作業を行うことで、ここに通う利用者さんの選択肢を広げ、利用者さんたちが輝ける場所の提供を行っています。利用者や家族、職員だけでなく、関係者みんなで優しい地域づくりをめざして活動しています。また麦わら屋の仕事や表現活動を地域社会に発信することで、人々の多様性を視覚化し認め合い、障がいを持っていても地域貢献をしています。

認定NPO法人 ほっとすぺーす・つき



主な活動内容

平日15時～20時、世代を超えて立ち寄れる「居場所」を開設。「子ども食堂つき」、「学習支援」、「手ぶらで書道」、「乙女の会」、生きづらさを抱える人が集う「ケンコー麻雀」を開催している。また、不登校児、ひきこもり者、子育て中の保護者を訪問し、傾聴と協働を行っている。

Voice 利用者

- ここが開いていたから、どっか悪いところに行かなかった。(居場所利用/中学生女子)
- 居るときに心地がいい。食事と楽しさが両立できる場所だから来る。(居場所利用/高校生男子)
- しゃべる人がいないから場所を開けてください。(乙女の会利用/70代女性)
- メニューの数が多くてびっくりです。(乙女の会利用/60代男性)
- 一番苦しいときに助けていただいてありがたかった。(メンタルフレンド利用保護者)
- ビジターさんが子どもをすごくかわいがってくれて、自分たちは宝物を育てているんだと気づいた。(ホームスター利用/20年代女性)

認定NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい



Voice 相談者の声

病気で仕事ができなくなり正社員を解雇され、アルバイトを掛け持ちして生活する日々精神的にも肉体的にもボロボロになり、どうにか身体に負担のないようにできないかと調べていたところ、生活保護の文字が目に入りました。1人で相談に行くと水際作戦で追い返されるなど、調べるほどに不安が増してきました。そんな時に「もやい」を見つけ相談に行ったところ、みなさん優しく本気で心配してくれました。生活保護になってからは色々安定しました。部屋を見つける時は大変でしたが、「もやい」で紹介頂き、現在の満足いく部屋に巡り合えました。本当に感謝の一言です。

主な活動内容

私たち「もやい」は「日本の貧困問題を社会的に解決する」というミッションを掲げています。2001年の設立以来、ホームレス状態の方や生活困窮者の支援に携わってきました。具体的な活動として、ホームレス状態・ネットカフェ難民などの安定した住居をもたない方がアパートに入居する際の連帯保証人をのべ2400世帯についてお引き受けしているほか、生活困窮者からの相談を年間約4,000件受けています。また、コミュニティカフェや仕事作りの活動を通じて、地域の中での居場所作りの活動をおこなっています。

認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・東京



Voice プログラム参加者の母

バスケットボール・プログラムに参加して、17年以上。仲間も増え、スペシャルオリンピックスは、娘にとってかけがえの無い場所となっています。先日、妹が夕食の時に「お姉ちゃんは、今幸せ？」と何気なく聞いたら、微妙な質問にはすべて「わからない!」と答えることを決め込んでいる娘が、この時はキッパリと「うん、幸せ。だってバスケがあるから!」と、胸を張って即答でした。スペシャルオリンピックスのお陰で、娘も私たち家族も、豊かな時間を過ごすことができます。今日もまた、大好きなバスケットボールの練習の準備に余念がない娘です。

主な活動内容

スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちに、様々なスポーツプログラムとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。この活動を、東京都内において実施しているのが、スペシャルオリンピックス日本・東京であり、現在は16のスポーツプログラムと6つの文化活動に取り組んでいます。

一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会



Voice 講座の受講を経てご自身も認定講師に

小学生の子を育てながら、看護師として働いています。仕事中は穏やかな私ですが、母としても優しく穏やかで在りたいという願いとは裏腹に怒ってばかり。そんな自分に嫌悪と否定ばかりで苦しい日々でした。しかし、「折れない心を育てるいのちの授業」を娘と共に受講したことをきっかけに、共通言語があることで、「会話」から「対話」へと変化が。次第に、互いを尊重する関係性が築けるようになり、たとえ解決困難な問題があっても、苦しみに向き合い、穏やかに過ごせることが増えてきたと実感しています。この出逢いは人生の宝です。

主な活動内容

限られたいのちに関わる現場で培ってきたホスピスマインドをもとに、人生の最期まで「私」にとっての豊かさ(Well-being)を実感できる社会をめざし活動しています。多様な関係者と連携しながら、一部の専門家だけではなく、子どもから高齢者まですべての人が苦しむ人と関われる、担い手とコミュニティの育成を行っています。

認定NPO法人 マドレボニータ



Voice 教室に参加した多胎児の母 (産後ケアバトン制度利用)

産後ケアバトン制度を利用させていただき、久しぶりに楽しみながら体を動かすことができました。双子育児をしていると、社会から取り残されているだけでなく、単体児のママさん達とも私は違うんだと、勝手に孤独感に苛まれることがあります。ですが、教室でみんなと一緒に体を動かし、お互いの話に耳を傾けられたことで、これからはもっと色々なことに自分から積極的に関わっていきたいと思うようになりました。また受講するにあたり、インストラクターをはじめ、たくさんの方々にサポートしていただけたこと、大変感謝しております。

主な活動内容

マドレボニータは「産後を起点とする社会問題の解決」を目指し、産後ケアプログラム開発、対面の「産後ケア教室」や「産前・産後のセルフケアオンライン教室」提供、多胎児の母やひとり親などの受講料補助「産後ケアバトン制度」運営、法人向け復職支援プログラム提供、指導者養成、産後の実態調査などを行っています。

NPO法人 Fine



Voice イベント、不妊ピア・カウンセリングの参加者

- 不妊や不妊治療のことは誰にも話せず一人で抱え込んでいましたが、Fineのイベントに参加して一人じゃないんだと思い、心が軽くなりました。
- 不妊経験のある不妊ピア・カウンセラーに話を聞いてもらい、我慢しなくてもいい、今は笑えなくていいと、自分を肯定できるようになりました。
- 妻と一緒にイベントと一緒に参加したら、自分たちだけじゃないことがわかり、二人とも気持ちがとても楽になりました。

主な活動内容

Fineは2005年にNPO法人として活動をスタートし、現在・過去・未来の不妊体験者を応援する会として活動しています。メンバーは皆不妊を経験した当事者で、イベントやおしゃべり会で当事者同士の繋がり場の提供、不妊ピア・カウンセラーの養成とピアカウンセリング、国への政策提言、企業や自治体との協働事業、JISART施設への審査員を行っていて、生殖医療全体の環境改善活動を行なっています。

認定NPO法人 心のおしゃべり音楽工房



Voice 音楽療法 児童科 利用者

音楽が大好きな息子は、ドアを開けた瞬間、オリジナル曲で迎えられ、「ばあ」と顔が輝き、ぴよんぴよん飛び跳ねながら中に入っていました。毎回、トランポリンで飛び跳ね、ラッパを吹いたり、太鼓を叩いたり、楽しいワクワクした時間を過ごしています。集中力が欠けている子ですが、ギターを長い時間集中して弾いたり、一つのことに取り組む姿を見せてくれるようになりました。

主な活動内容

当法人は、代表の中井が1998年にMTN 世田谷対話音楽工房上馬5丁目音楽室を開室したところからスタートし、2015年12月に東京都よりNPO法人の認証を得てNPO法人化、2021年11月8日に東京都より認定の交付を受け、認定NPO法人となりました。「個々に寄りそった高品質の音楽療法により、それを必要とする人たちを持続的に支援できる団体となる」を理念として活動しております。

認定NPO法人 D-SHiPS32



Voice パラスポーツ大会・パラ大学祭参加者の声

- 難しかったけど、障がいの有無や性別問わずに誰でも楽しめるスポーツだと分かった。
- 普通のスポーツより物足りないと思っていたが、実際に体験すると普通に夢中になっていた。
- 制限が多く、窮屈なイメージ、専門色が強いと思っていたが、とても楽しかった。
- 皆で楽しめるスポーツであるが、パラスポーツができる環境(場所や道具など)が整っていないと感じた。

主な活動内容

障害のある子どもを持つご家族は、こう言います。「生活を支えることで精一杯。とてもスポーツを楽しませてあげることなんか、できない」と。これこそ、日本の障害児をとりまく社会の課題、そのものです。そんな日本は、ひっくり返そう。日本にいる障害のある子どもたちが、思い切り大好きなスポーツを楽しめるように。障害のある、なしにかかわらず、子どもも大人も、自分の夢を叶える一歩を踏み出す場が必要です。その環境を、体験の機会を、作っていく。これが、D-SHiPS 32の活動理念です。

認定NPO法人 静岡市障害者協会



Voice 会員

静岡市障害者協会では毎月開催されている会員を対象にした勉強会、障がい者にやさしいまちづくり、南海トラフ地震に備えた防災事業、近年では大学等に進学したい若者に向けて奨学金の設立など、障がい当事者が必要としている問題や課題に応える事業に取り組んでおり、その活動は障がい当事者にとって大きな意味を持っています。これからも一人も取り残さない社会を目指して、私たちと一緒に歩いてくれることを期待しています！

主な活動内容

近年では発達障がい、難病の団体や障がい福祉事業所も会員となり、相互の連携、活動の支援、社会参加の促進、市民への啓発などの事業を行っています。主な事業として、静岡市障害者相談支援推進センター（基幹相談支援センター）の受託の他、行政に対する障害者施策の提言、災害への対応、遺贈寄附を基金とした大学等への進学を希望する障がい者への奨学金の給付などの事業に取り組んでいます。

NPO法人 地域福祉サポートちた



Voice 会員団体の代表

NPOの地域連携において、サポートちたは、知多半島で長年重要な役割を果たしています。福祉人材育成事業においては、地域のNPOスタッフが講師となり、高齢、障がい分野での資格講座を継続して開催しており、新たな人材の発掘・育成、中堅職員のフォローアップにもつながり、人材不足が深刻な福祉分野の力となっています。これからも、知多半島の重要な市民活動継続の大きな支えとなってくれることを期待しています。

主な活動内容

知多半島では、福祉系NPOが、たすけあい事業を活動の基盤に介護保険等の制度事業を展開しています。これら団体間の緩やかなネットワークのつなぎ役として、福祉人材育成・研修事業（福祉資格講座、NPO研修等）、情報交流促進事業（会員交流会、機関誌発行等）、啓発・相談事業（NPO法人設立・運営相談等）、調査・研究・提言事業（会員団体実態調査等）、市民活動支援事業（市民活動センター運営支援等）を行っています。

NPO法人 りんりん



Voice 大学サービスラーニング (社会貢献活動)参加者

児童・高齢者・障がい者・多世代交流の4つの分野を経験しました。初めての経験でしたが職員・ご利用者の皆様の温かい雰囲気を感じながら様々な大切なことを学ぶことができました。その中でも「居場所」の大切さを身にしみて感じ、将来私も誰かのために安心できる「居場所」を作り守ることができるようになりたいと感じました。さらに活動を通して改めて自分がどの分野に進んで向かっていくのかをあらゆる視点で見つめ考えていきたいと思います。

主な活動内容

1994年一人暮らしの高齢男性が退院後の生活支援を7人の女性が活動したことが始まりのきっかけです。童話作家新美南吉の生まれた岩滑を拠点に「困った時はお互いさま」の精神で「た」すけあうところで「す」べての人が「け」んこうで「あ」んしんして暮せる「い」い街づくりを目指して活動しています。りんりんの会員が「あったらいいな、できたらいいな」を形にし、夢を持つ人たちが繋がっていけるよう心がけています。

NPO法人 ゆめじろう



Voice イベント参加者

初めて「武豊町自然公園を楽しもう！」イベントに参加しました。町内にこんなに素晴らしい場所があったことを改めて知ることができました。また、森のカフェや森の音楽会、森の工作教室など大変楽しく晩秋の1日を過ごさせていただきました。イベント最後の生演奏でのフォークダンス(マイムマイム)では、参加者だけでなくイベントスタッフの人も全員で踊り、過ぎ去りし昔を思い出し楽しい時間でした。

主な活動内容

自然公園を楽しもう! (自治体との協働事業)

武豊町立自然公園を町民の皆さんに知ってもらおうと共に、公園の利用促進のためのイベント。公園内のマップを活用したウォーキングイベントの他、展望広場にて「森のカフェ」「森の音楽会」「森の工作教室」を開催。

NPO法人 HA-HA-HA



主な活動内容

子どもや障がいの福祉を通じ、みんなが『そのままに暮らす』コミュニティ作りに向け、①みんなが主体的に活動し、②生活で使える、③根拠のある支援、④家庭・幼稚園学校・就業先等の環境調整、他業種・多職種連携を実施し、またスタッフが心豊かで、常識に囚われず、遊ぶように課題解決する環境育成を大事に活動します。

Voice 利用者の母

本人は自分の気持ちを出表することが苦手で不安定になることが多々ありました。HA-HA-HA施設『子LAB』さんでは本人に寄り添い支援をいただいているおかげで、少しずつ気持ちを出表できるようになりました。今では職員さんをお願いして、本人の気持ちを聞いてもらっています。不安定になることも少なくなりました。他にも外出や学習支援で自分でできることが増え、楽しそうにしている姿を見て親としてもうれしいです。本人を客観的に捉えながら、本人が楽しく取り組める支援をいただき本当にありがとうございます。

社会福祉法人 倣裏会



主な活動内容

社会福祉法人倣裏会では2017年より住み慣れた地域での在宅生活を支えるために、高齢者(世帯)を中心に生活困窮者への生活支援(ごようきき)サービスを開始して制度の狭間で手の届かない様々なお困りごとの支援を実施。

Voice 生活支援をご利用された高齢者のご家族様

身の回りの世話をしたいと思ってはいるのですが、遠方で(新型コロナ禍も有り)頻繁にも行けず心配していました。どこにもお願いできないちょっとした用事でも、すぐ対応して頂けるサービスがあって家族も喜んでおります。朝のゴミ出しや灯油の入替など、とても親切に安く提供して頂くことで、今では何でも対応してくれる『あゆみさん』に気軽に相談していると聞いて安心しています。また、年金生活の母の今後の生活を見据え余計な費用(材料費は実費、出張相談・見積費用は無料)が掛からないのも魅力です。

社会福祉法人 松花苑



Voice 施設利用者のご家族

職員様のおかげで、本人は楽しく過ごさせていただいており喜んでおります。永い間一生懸命、自分でさせるよう、しっかりさせるよう努力してきたのですが、私の力では「お母ちゃん、やっといて」と言われ、それ以上させようとする怒ってくるし困っておりましたのに、今は自分でやっているし、「大人やな」と褒めることが多くなり、心から喜んでおります。

主な活動内容

京都府南丹圏域にて、入所施設、通所施設、グループホーム、居宅介護、相談支援、障害者就業・生活支援センターなどの事業を幅広く展開し、日常生活・日中活動・就労等の支援を通じ、障害のある方たちが地域の中で主体的に自分らしく暮らしていけるよう、ライフステージに沿って必要な支援を提供しています。

社会福祉法人 京都基督教福祉会



Voice 保育所利用者

月見ヶ丘こどもの家にて兄弟でお世話になっております。キリスト教保育を中心に、日々の保育、行事を通じて一人一人が大切にされ、先生方、地域の方々と共に子どもたちの成長を見守って頂いていることを実感しております。モンテッソーリ教育に触れ、縫いさしや教具を使って、好きなことに集中できる環境の中で毎日楽しそうに通っています。先生方には子育ての相談にもものって頂きとても心強いです。コロナ禍で色々な制限がある中、保護者が安心して預けられるよう様々な工夫をして保育をしてくださる先生方に感謝しております。

主な活動内容

始まりは保育園です。1949年京都市西京区桂の地で児童福祉事業を始めました。その後、保母養成に取り組み、後に厚生労働省の認可を受けて、保育士・介護福祉士の養成校を設立し、多くの社会福祉を担う人材育成をしてきました。誰もが自分らしく生きられる社会の創生を使命とし、障がい児・障がい者通所施設、高齢者施設の事業も運営しております。

社会福祉法人 みねやま福祉会



主な活動内容

NEXT FUKUSHI—新しい“フクシ”を創造する—

私たちのミッションは「“フクシ”の仕事で暮らしの困りごとを解決すること」です。京都府北部地域における人口問題は日本の中でも深刻な課題を抱えています。しかし、考え方を転換すれば、私たちの取り組みによってこの地域を維持することができれば、課題先進地域である丹後地域から日本の人口問題を解決する「新しい福祉モデルが誕生する時代」とも考えられます。その為に私たちは、日本を救う仕事へと「フクシ」をアップデートしていきます

Voice 保護者・利用者ご家族

- いつも安心して預けることができ、子どもと接することがつらくなる時も温かく迎えてくれる先生たちに、とても感謝しています。子ども達も先生が大好きです。ありがとうございます。(保護者)
- 両親がともに働いているので、特に延長保育や休日保育等、柔軟に対応していただきありがたいと思っています。(保護者)
- いつも様々な相談に応じていただき、家族にとって心強いです。(利用者ご家族)

社会福祉法人 山城福祉会



主な活動内容

京都府宇治市で、知的障がいのある方々が住み慣れた地域で、少しでも自立した生活が送れるよう就労継続支援B型、生活介護、共同生活援助、短期入所、日中一時支援、居宅介護、相談支援事業など、多様な障害福祉支援事業を運営しています。

Voice 利用者の家族

- 私の娘は、19年間お世話になっております。長いようであっという間でした。仕事はもちろんのこと、いろいろな事に力を付けていただきました。これも職員、指導員の皆様のおかげと感謝しています。
- 今年36歳になる我が子は、人生の半分を施設で過ごしています。今までの18年を振り返った時、「ああ、幸せだったなあ」と思います。様々な経験を通して、親子共々、少しは成長できたかなと思います。
- 施設に入所して早や16年の月日が流れ、その間、山あり谷ありでしたが今日まで元気に通所出来たのは支援員の方々をはじめ利用者の皆さんの励ましのおかげと感謝しています。

社会福祉法人 秀孝会



主な活動内容

秀孝会は地域に根ざした社会福祉法人でありたいと、特別養護老人ホーム 2 施設、ケアハウス、グループホームなど高齢者の福祉に特化した事業を運営しています。入居者の生活ペースのもと、お一人おひとりが自己決定や自己選択のできる寄り添った介護に取り組んでいます。2019 年 4 月には実業団の女子ソフトテニス部を創設し、また外国人技能実習生の受け入れを行うなど、新しい取り組みもすすめています。

Voice 入居者ご家族

- 良くして頂いて、私としては嬉しく思っています。信頼している職員さんがいて下さるので安心して預けられます。家にいるとなかなか面倒もみられませんでしたが、施設では色々な事もして下さるし家にいるよりも良くしてもらって母も喜んでおり、安心して生活してくれています。
- すごく良くしてもらっており喜んでます。オムツ交換が大変だったのですが職員さんから「排泄の感覚があるから」という事で入所後よりトイレ誘導をして下さっています。周りの方達からも「良い施設に入ったね」と言われ喜んでます。

社会福祉法人 宇治福祉園



主な活動内容

「社会福祉法人 宇治福祉園」は「いのちを大切にする・日常的な幸せを創造する」という法人の理念のもと、1973 年に国の認可を受け、現在、宇治市と京田辺市で幼保連携型認定こども園、保育園、放課後児童健全育成事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、保育所等訪問支援事業、相談支援事業、地域子育て拠点事業、ファミリーサポートセンター事業に加え、子ども食堂や居場所づくり事業等の地域公益事業を実施しています。

Voice 保護者

園では、子どもだからさせないと言う事は少なく、子どもが羨ましくなるほど様々な体験を経験させていただきました。その体験を家庭で、毎日キラキラした目で私に教えてくれました。

子どもから「お迎えは遅めに来て」とお願いされるほど活動が魅力的なのでしょう。また、親になり不安な事もありましたが、先生達がそんな親の気持ちに寄り添い、一緒に悩み・共感していただいたことで、親も一緒に成長させてもらえました。

NPO法人 京都フォーライフ



Voice 従業員(利用者)

- 安心して働くことができます。
- 生まれて初めて働くことが“楽しい”って思ったんです。
- お給料いっぱいもらえるから嬉しい。

Voice Caféスタッフ

皆さん意欲的に一生懸命働かれています。“障がい”を感じることはありません。

主な活動内容

2008年事業開始、翌年法人設立の上事業認可を受けています。現在、京都府久御山町内で「就労継続支援A型事業所」3事業所を運営、その他地域企業内で支援員が同行して就労に取り組む「施設外就労支援」にも積極的に取り組んでいます。自主製品の加工・販売事業として取り組むコーヒー焙煎事業では、隣接する宇治市内の公共施設内2ヶ所でCafé運営に取り組み幅広く地域の皆さまにご利用いただいています。

認定NPO法人 プール・ボランティア



Voice 障害のある利用者

体を動かす機会が少ないのですが、毎週マンツーマンでの水泳指導のおかげで、運動不足が解消され、クロールが泳げるようになりました。私は、重度な身体障害があり、車いす生活者です。20年間、お世話になっています。ボランティアさんと一緒にプールに入るのは、とても楽しいです。上手に言葉でして欲しいことを伝えるのは難しいですが、伝える工夫ができるようになりました。難聴の息子は、プールに入る時は補聴器を外すので心配でしたが、このヘルプマーク・スイムキャップをいただいたので安心してプールへ送りだしています。

主な活動内容

「障害者も健常者も同じようにプールを楽しめる社会の実現」(定款第3条)を目的に活動をしています。一般の市民プールを利用し、障害者にマンツーマンで水泳指導やプール・リハビリをしています。

- ◎ヘルプマーク・スイムキャップを全国に無償配布。
- ◎プール専用車いすや重度身体障害者用浮き具の販売。

認定NPO法人 さわやか千の里



主な活動内容

“困ったときはおたがいさま”の精神で互いに助け合える、地域に根差した活動をして27年目です。創設5年目に法人化し、居場所も開設、公的サービスでは賅えないたすけあいサービスを提供。この地域は坂の多い街で高齢者や障がい者など移動制約者のための福祉有償運送を行っています。

Voice たすけあい利用者

家の中ばかりいた時、知人に誘われて居場所に参加しました。生活が一度に明るくなりました。また、自宅からバス停まで遠く、坂が急なため、自宅まで迎えに来てくださる福祉有償運送サービスを利用し、通院や買物などにも自由に行けるようになりました。ドライバーさんも親切で安心して利用できました。いつもありがとうございます。

NPO法人 市民後見ひょうご



主な活動内容

私たちは判断能力の低下が生じた高齢者の方等に対して、市民後見人として、ひとり一人が人間としての尊厳を保ちながら、安心・安全な社会生活が送れるよう市民の立場に立った生活見守りや、成年後見制度に関する相談及び支援を行います。またその質を高め、常にご本人の意思を最大限に尊重しながら、ご本人に寄り添った身上保護(身上監護)と適正な財産管理を行っています。

Voice 支援していたご夫婦 (夫：成年被後見人、妻：被補助人)

夫(83歳)が亡くなり生きる希望を無くされた入院中の妻(80歳)を元気付ける為、連絡が途絶えていた東京在住の姉に連絡を取りました。また、ご夫婦が残された自筆証書遺言の検認申立を行うに当たり、夫婦合わせて11人の相続人を洗い出して連絡を取りました。コロナ禍の困難な状況下で、亡くなる前の意識がある内に面会を実現できたこと、そして相続手続きの支援まで行なった結果に対して、ご親族一同から多大の謝意が表されました。

社会福祉法人 壽光会



Voice 利用者家族

自然の眺めがよく、心が癒される環境であります。利用者のことを考えて職員の方は行動されており、安心してお願いができます。

主な活動内容

出雲市合併前の旧簸川郡湖陵町時代の平成13年に、地域に特別養護老人ホームがなかったことをきっかけに設立しました。その後、地域ニーズに応える形で事業を拡大し、4つの介護事業所と保育園を運営しております。様々な課題に積極的に取り組みながら質の高いサービスを行い、地域との絆を大切にして交流を深め、地域住民に選ばれる法人を目指しています。

認定NPO法人 オリーブの家



Voice DV保護シェルター利用者

7年の間、夫からの暴力と脅迫のDVを受けていました。夫はイラつくとお腹や足を蹴りました。アザが見えないところばかり。子どもがいるのでなかなか離婚の決断もできなかった。だから色んなところに電話して相談しました。子どもが夫の暴力を何度か見てしまい学校に行けなくなりました。逃げられなかった理由は子どもを置いて行けないことでした。頼れる人がいないし、経済的にも苦しくて死ぬしかない時まで。そんな時に知り合いが「親子で入れるシェルターがあるよ!」と教えてくれたのがオリーブの家で私たちの希望の光です。

主な活動内容

貧困母子家庭に対して、社会復帰、就職、再婚、出産できる環境作りの支援活動、更にDV(精神的パワハラ、モラハラを含む)に悩む女性と子どもの保護シェルターを完備し、専門家による心のケアを行っています。また、家庭内や男女間で問題を繰り返さないためのアドバイスや個人カウンセリング、交流会を行い、コミュニケーションセミナーを開催することで貧困、DV被害を防止し、誰一人虐げられることのない世界を目指して活動を行っています。

認定NPO法人 日本IDDMネットワーク



Voice 1型糖尿病患者の母親

子どもが、昨年1型糖尿病を発症してパニックになりましたが、日本IDDMネットワークの『希望のバッグ』を取り寄せて、1型糖尿病について色々勉強し、子ども自身が自分の病気について友達などに説明することもできるようになりました。感謝しています。

Voice 「1型糖尿病の妊娠・出産セミナー」参加者

現在妊娠中で不安なことが多いんですが、経験談を聞いて、前向きに出産に挑もうという気持ちになりました。本当にありがとうございました。

主な活動内容

1型糖尿病患者は、いったん発症すると一日数回のインスリン注射等を一生打ち続けなければなりません。私たちは、患者・家族への正しい情報提供(“希望のバッグ”の送付、セミナー開催等)、患者・家族の療養環境や医療・福祉的な支援制度の改善のための政策要望、大規模災害時の患者・家族支援、療養相談、社会啓発等に取り組んでいます。そして最終ゴールである1型糖尿病の根絶を目指し、その研究費助成にも取り組んでいます。

認定NPO法人 ホームホスピス宮崎



Voice 利用者のご家族

- (母が) この施設で過ごした11年間に、多くの人に会い、助けてもらい、とても大切にいただきました。そのお陰で、私は母の介護だけに明け暮れることなく、私は、私の人生を並行して生きることができました。
- HALEたちばなに子どもを預かっていただいて、初めてゆっくり眠ることができました。きょうだいの授業参観に行くこともできました。

主な活動内容

今では全国に広がっているホームホスピスは、2004年に宮崎市の空き家から始まりました。私たちは、必要としている人がいるけれど制度がない、そういう社会課題に目を向け続けてきました。ホームホスピスは、様々な理由で最後の時期を自宅で過ごせない方々のための住まいとして誕生しました。そして今、年々増えている日々の生活に医療的なケアが必要な子ども達のために、生活の延長にある居場所を作る活動を始めています。

NPO法人 みやざき子ども文化センター



Voice イベント参加者

小学生の頃に参加したベビーシッター養成講座で、実際に保育園で小さな子どもたちと接したことがきっかけで保育士になろうと思い、現在保育士として働いています！



Voice 芸術家派遣事業受講者(小学6年生)

(演劇のワークショップを受けて)遊びながら、コミュニケーションの大切さを知れて、とても楽しかったし勉強になりました。

主な活動内容

文化・芸術体験を通じて子どもの社会参画、子どもの集える文化の拠点づくりを目的としたイベント、ワークショップなどを開催しています。また、子どもたちの居場所づくり(児童クラブ・児童センター)の運営、子育て支援センターなど保護者の支援、宮崎県内の子育て支援団体とネットワークを作り情報交換やイベントの実施、さらには社会的養護下にいる子どもたちを支援するための里親制度の普及・啓発、里親の養成など子どもを中心とした活動を行っています。



福島県

<https://tecojapan.wordpress.com/>

一般社団法人 Teco



Voice 水害被災地サロン参加者

- ここに来れば困っていることがいつも解決します。
- 普段人と話す機会が全くないので毎週楽しみに参加しています。
- 地域の人と顔見知りになることができました。
- 水害やコロナで不安な日々を送っていましたがテコさんの笑顔に救われました。

主な活動内容

「誰もが住んでいて良かったと思えるまち」を目指し、いわき市を拠点に以下の事業等を行っています ①水害被災地被災者の為の居場所づくり事業(サロン運営/コミュニティ食堂) ②東日本大震災被災者の孤立・孤独防止と地域コミュニティ創生事業(交流会/イベント開催)③いわき市つながりサポートセンター事業(中間支援)④総合型地域スポーツクラブ事業(教室/交流イベント)⑤移住サポーター事業(移住促進イベント運営)

認定NPO法人 えどがわエコセンター



主な活動内容

当法人は平成16年4月に設立、区民・事業者・行政等と連携し、地球温暖化防止や生物多様性、ごみ減量や環境教育等、年間250件(コロナ禍以前)を超える環境活動に取り組んでいます。講座やイベントを開催し、楽しみながら学習できる場、参加者の交流の場づくりにも取り組んでおり、会員数は480人を超えています。こうした活動が認められ平成21年と平成25年に環境大臣表彰を受賞、平成30年に「認定」を取得しました。

Voice イベント参加者

- 子供と一緒に楽しむことができました。ありがとうございました。
- ラムサール条約について良く分かりました。船上からの観察も良かったです。ありがとうございました。

Voice 学校教員

- 児童の活動や学校の環境整備に役立てることができました。児童が学習したことを今後の生活に活かし身近な自然環境から環境問題に目を向けていければと思います。

NPO法人 エヌピーオー・フュージョン長池



主な活動内容

当団体は、八王子市の多摩ニュータウンにおいて、市民協働型の都市公園管理運営や環境保全・教育などの事業を行い、豊かな自然環境を守り育てながら、子供たちをはじめとする人財の育成を行い、又、住民一人一人が自己実現を果たせる多様な場を創出することで、全ての世代が生き生きと暮らせるまちの実現を目指しています。

Voice ボランティア参加

NPOフェスティバル(八王子のNPO法人や市民団体の情報交換会)にNPOフュージョン長池さんが参加し、活動拠点の長池公園から20分間ライブ中継されることで、ボランティアとしてお手伝いをさせて頂きました。私自身も地域でボランティア活動に関わることが多く、円滑な協働や運営面などで難しく感じることもありましたが、団体としての人との関わり方、ものごとの進め方など、とても多くのヒントをいただきました。自然あふれる元気な地域づくりに参加させて頂き、とても勉強になりました。有難うございました。

認定NPO法人 日本ジオパークネットワーク



Voice 賛助会員

日本ジオパークネットワークより後援をいただき、書道とジオパークを組み合わせた個展を開催しました。パンフレット・普及雑誌などの提供を受け、より充実した展示となり、ジオパークについて多くの人に知ってもらえました。甚大な自然災害の発生が増えている今、火山や地震や台風など、地球の活動のしくみについて知る必要があります。

主な活動内容

日本ジオパークネットワークでは、地形や地質、動植物や生活文化など地域資源を保全活用することで豊かな社会の実現を目指しています。また、ジオパークの活動をとおして「変動する地球に生きるための素養」を醸成し、地球科学の普及や人材育成に取り組んでいます。近年、ジオパークの視点から気候変動や海洋ゴミ問題など社会が直面している課題にも積極的に取り組み、特に自然災害のメカニズムを学ぶ防災・減災教育などでは「自分ごと」の防災意識醸成に成果を上げていると考えています。

NPO法人 離島経済新聞社



Voice 個人サポーター

島が大好きです。訪れるたび、個性あふれる人や文化、自然に魅了されます。そしていつまでも大切にしないでとは感じます。そんなとき、ご縁がありリトケイのみなさんに出会いました。「離れている」島、と書いて離島ですが、リトケイを通じてたくさんの島や人が「繋がっている」こと、そして豊かな関係が次々と生まれていること、本当に素晴らしいと思います。

主な活動内容

国内約400ある有人離島に特化したメディア運営および地域振興をサポートするNPOです。有人離島専門メディア『ritokei』を通じて、島の住民、縁故者、ファン、移住定住希望者等がつながるきっかけを創出。主に「子育て・教育・人材育成」「環境保全」「産業振興」を中心に、島の営みを維持するために必要なアクションを実行しています。

認定NPO法人 びわ湖トラスト



Voice ジュニアドクター育成塾生他

- 先生の環境DNAの講座を受講し、その凄さに気づきました。この研究が発展していったら、大きな影響を与えるものと思います。(ジュニアドクター受講生)
- 個人ではいけない原生林の巨木に出会い、森林のメグミと大切さを感じました。(栃ノ木観察会参加者)
- 環境活動とICTとの融合という試みは大変興味深く、社会的意義も大きいと理解しています(ソーラーボート大会参加者の保護者)

主な活動内容

将来の琵琶湖の自然環境を維持改善するため、①びわ湖をベースに主として小学生～高校生までの子供たちの環境教育の実施②琵琶湖を取り巻く水源、内湖などの調査研究支援③湖沼に関する情報交換や湖岸の漂着ゴミ調査、湖内のマイクロプラスチック、水質調査など、周辺大学、企業、NPOなどの協力を得ながら実施しています。

認定NPO法人 自然再生センター



Voice 松徳学院中学校・高等学校

2023年2月ユネスコスクール公式加盟校に認定された本校は、山陰の地域性に特化した「水」をテーマとし、認定NPO法人自然再生センター様に多くの助言を頂きながら活動を続けてまいりました。この取り組みによって生徒達は、課題発見力とその解決に向けての実践力、また意見を他者に伝える発表力を身に付けることができました。持続可能な社会を築くための教育(ESD)の牽引校として本校が発展するために、認定NPO法人自然再生センター様との関わりは不可欠と考えております。

主な活動内容

世界に誇るラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖の、自然環境や資源循環を再構築することを目指しています。なかでも自然再生推進法の下「浚渫産地埋め戻し実証事業」「海藻類の利活用事業」は専門家のエビデンスを強みとしています。また、次世代や住民参加の場を広げながら、楽しめる包括的自然再生を展開しています。

NPO法人 三段峡-太田川流域研究会



Voice 団体所在地の役場職員

さんけん(三段峡-太田川流域研究会)の活動のお陰で、地域の三段峡を見る目が変わってきたと感じます。今までは「観光」の面しかみられていなかったが、貴重な自然の残る「環境」としての側面と、体験学習や環境教育の「学びの場」としての価値が生まれたと考えています。

主な活動内容

三段峡観光の再生を目的に「三段峡Re-Bornプロジェクト委員会」が設立され、2017年に「三段峡憲章」が制定されました。三段峡憲章を推進し地域の歴史と自然史を研究し、観光と教育の振興に貢献し、持続する地域づくりに資する活動を目的に、私たちの団体は2018年に設立されました。文化財保護法と自然公園法で保護された溪谷三段峡が、100年先の広島にとっても大切な場所であり続けられるように活動しています。



岐阜県

<https://human-animal.jp>

認定NPO法人 人と動物の共生センター



Voice 利用者(咬む柴犬の飼い主)の声

奥田先生に往診していただいて、住環境、家のまわりを見ていただいて、噛ませない環境を作ることや、噛む動機を作らないことを指導していただきました。薬も処方していただいて、ずいぶん効果が出ました。グループレッスンに参加して、他の犬達との関わりも覚えて、マテもできるようになりました。飼い主も嫌な思いをせずに問題行動が改善できて、とても嬉しいです。時間はかかりましたが、楽しく毎日を過ごせるようになって本当に感謝しています。

主な活動内容

当団体では、①犬猫の適正飼育の普及／問題行動の解決援助、②ペットと高齢者の共生支援(ペット後見)、③生活困窮者のペット飼育問題の支援と解決、④ペット防災・災害時の人とペットの避難の最適化に向けた活動、⑤ペット産業内の動物福祉の向上／社会的責任の推進の5分野の活動を行っています。



埼玉県

<http://sharetheplanet.jp/>

一般社団法人 シェア・ザ・プラネット



Voice 現地パートナーNGO

一般社団法人シェア・ザ・プラネットとは、2016年からバングラデシュ北東部でともに活動するパートナー団体です。子どもたちへの環境教育から活動を始め、現在は災害リスク軽減のための農業の普及を協働して実施しています。シェア・ザ・プラネットは常にフレキシブルに現場での問題に対して対処し、国際機関や中央行政に私たちの声を届けてくれています。

主な活動内容

日本ではNGOの組織基盤強化のお手伝いや研修、海外ではバングラデシュでの気候変動適応化農業の普及に取り組んでいます。

認定NPO法人 アジアキリスト教教育基金



Voice バングラデシュの小学校卒業生

小学校は勉強の喜びを教えてくださいました。たくさんの学びを得て、良い人生を歩んでいます。教育は成長するのに必要な光です。みんなが学校に通い、学べるようになって欲しい。これからもたくさん子どもたちを支援して欲しいです。

Voice 日本の学生ボランティア

ボランティアを始めた時は学生に何ができるのかと自らを無力化していました。しかし様々な事業に参加する中で、学生は社会問題を学ぶだけでなく、解決のための行動も起こせるのだと気づきました。エイセフでの一つ一つの活動が私たちにとって自信となっており、大変感謝しています。

主な活動内容

当団体は、1990年の設立以来バングラデシュの教育支援とアジアの社会課題に関心を持つ日本の若者の育成に取り組んできました。現地でパートナー団体と共に貧困家庭の子どもも学べるようにと小学校を設立し、教育支援を継続しています。また、スタディ・ツアー等を通じてアジアの人々が共に生きる社会を目指しています。

一般社団法人 サステナブリッジ



Voice 卒業生 Eさん

私は、農村にある実家で農作業を手伝いながら暮らしていました。ずっと、自分で仕事をして稼ぐことに憧れがありましたが、これまで自分で稼いだ経験はありませんでした。今回、3か月間の裁縫コースに参加して多くの知識を学びました。いまでは家の一角で近所の人から、ブラウスやスカートの仕立て注文を受け収入を得られるようになりました。お客さんに喜んでもらえて、収入ももらえて、とても充実しています。

主な活動内容

ミャンマーの若者が技術習得を通じてそれぞれの収入や生計が向上するよう、ミャンマー・カレン州で技術・職業訓練事業(建設・電気・自動車整備・溶接・裁縫)を展開しています。手に職をつけて自分らしい人生を切り開いていくお手伝いをしています。

NPO法人 関西国際交流団体協議会



主な活動内容

NGO/NPOの中間支援団体として 国際交流・国際協力団体間の連携強化、情報の相互共有の促進。2030年のSDG s17の重点目標達成を目指し、具体的な行動を取り上げNGO/NPO、行政等と連携しワン・ワールド・フェスティバルの事業の推進。入管法改正で急増する世界各国にルーツを持つ子ども達(Newcomer)に学習・日本語習得支援を行う事でグローバル社会の担い手となる人材の育成を目指す「こどもプラザ」の運営。

Voice 「こどもプラザ」参加者の保護者

- 私が日本語を読めないため、こどもが持ち帰る学校からの通知が理解できず、何回かこどもに恥をかかせたことがありました。しかし、こどもプラザの先生に日本語をわかりやすく解説していただき、徐々にこどものサポートができるようになりました。たいへんうれしく思っています。
- 市から補助金の件でサポートをいただき助かりました。
- こどもはこどもプラザが好きです。

認定NPO法人 地球市民の会

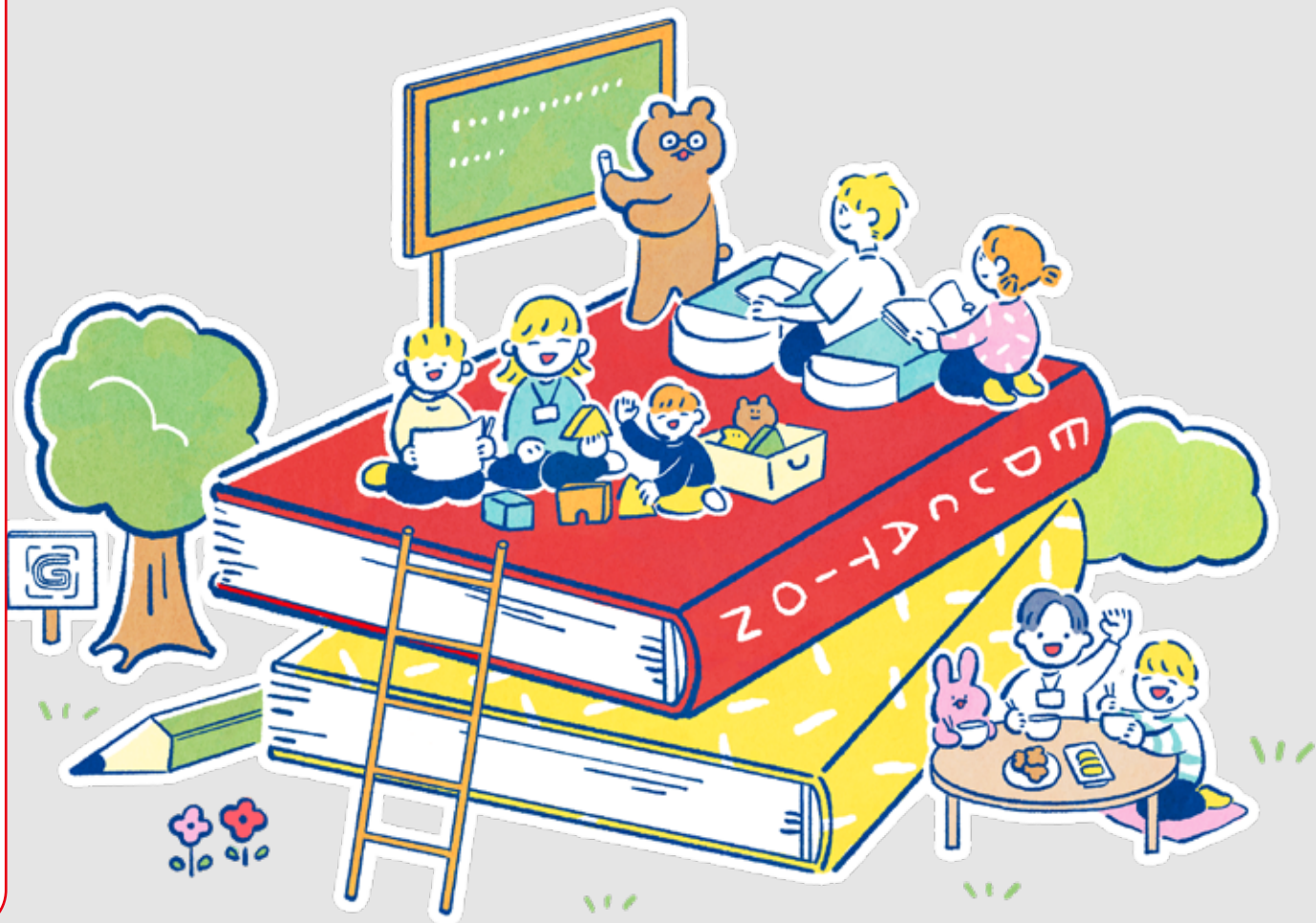


主な活動内容

1983年に佐賀の地で地域づくり団体として活動を始めました。2002年には法人格を取得し、2010年には佐賀で初めての認定NPO法人を取得しました。「世界中のすべてのものの幸せを自分の幸せと感じられる社会をつくりたい」。そういう社会を実現するために、海外ではミャンマー、タイ、スリランカで教育支援をし、日本では主に佐賀でSDGs普及、災害支援活動を行っています。

Voice 研修受講者(ミャンマー)

3か月研修で学んだ知識が大変役に立っています。土着菌を使って米を作ったのですが、化学肥料を使っていた去年より10袋も収量が上がりました。米を植える前に落花生を植えておいたのも良かったのだと思います。竹酢液を撒いて、虫を防ぐこともできています。3か月研修で習った方法で鶏を飼って、卵の販売もしています。最近、ホテルからの注文が入るようになってきました。地元の人も、たくさん見学に来ます。まずは自分たちが成功して、循環型農業をもっと広げていきたいです。



北海道

<http://www.play-on-tokachi.net/>

認定NPO法人 子どもと文化のひろば ぷれいおん・とかち



Voice 会員の声

- コロナ禍で家族以外とほとんど関わることのない生活が1年ほど続き、その間ずっと「居場所が欲しい。夫でも親でもない誰かと子どものことや他愛のない話をしたい」と思っていました。優しく温かく迎え入れてくれる雰囲気と心底ほっとし、視界が急に明るくなったような気持ちになりました。
- 子どもの成長を共に喜び寄り添ってもらえる場・人たちは他にはないと感じます。
- 子どもの手が少し離れ、してもらったことを返せる場があることは有難いこと。

主な活動内容

「ぷれいおん(play on)」には「もっと遊ぼう!みんなで遊ぼう!」という想いが込められています。「子どもは遊びで育つ」「みんなで子育て」をモットーに、赤ちゃんから大人まで異年齢・多世代での遊びや交流活動を通じて、豊かな子どもの世界、子どもの育ちを見守る地域社会をめざしています。

認定NPO法人 盛岡ユースセンター



主な活動内容

小学生から20歳前後までを対象としたフリースクールを2010年から運営しています。子ども達が自分らしく笑顔で、安心して成長できる場所を目指して、一人ひとりがやりたいことを応援しています。学校生活の中では、自分らしさを大切にすることが難しいと感じる子ども達に「もっと自由なやり方でいいんだ」と感じてもらい、多様な選択肢の中から、自分の進みたい道を選べるようになってもらうことが目標です。

Voice 利用者の保護者

先日の秋の散歩、終わって帰ったら「久しぶりにとっても楽しかった」と話し、とても満足した表情をしていました。主人も、子どもの表情を見て、「楽しかったんだね、良い顔してる」と言ったほどでした。その後も、「楽しかった」と喜んでいる姿を見て、親としても嬉しい限りです。ユースセンターさんに流れる空気が居心地よく、改めて子どもが過ごす環境の大切さを実感しました。不登校という選択をせざるを得ない状況になった時に子どもも親も傷つき孤立してしまいますが、ユースセンターさんがあったおかげで将来に希望が見出せました。

認定NPO法人 こども∞感ぱにー



主な活動内容

本会の事業の柱は2つ。東日本大震災により、子どものあそび場や居場所が足りない宮城県石巻市で、プレーパーク（誰でも自由に行ける公園）とフリースクール（不登校の子どもの社会的自立支援）事業をおこなっています。子どもたちがありのままにいられるように、また、不登校で悩む子どもをサポートするために、私たちは地域の一員として子どもが安心して過ごせる「居場所」をつくり続けています。

Voice プレーパーク、フリースクール利用者

中学校時代に不登校を経験し、現在は高校に通っています。フリースクールに通う前は自分から外出することが全くなく、全ての事に無気力でした。フリースクールがあったおかげで、自分としっかり向き合い、その時の自分に何が出来るかを考えるようになりました。また、フリースクールを通じてたくさんの人と出会い、「不登校でも日々を楽しく過ごしてもいい」と思えるようになり、楽しく生活することができました。

NPO法人 やっぺす (前:石巻復興支援ネットワーク)



Voice 女性起業家スクール受講生

「やっぺす」は居場所です。ここがあると安心する。私にとっても、やっぺすに関わったみんなにとっても同じだと思います。起業支援も復興支援もどれも素晴らしい活動をされていますが、ポイントは「やってくれる」ではなく、「自立させてくれる」ところ。やっぺすに依存するのではなく、その人が一人ですべて歩けるようになっていくという活動が一番すごいと思います。

主な活動内容

石巻圏域において、地域の課題解決にむけ、女性の相談窓口設置・女性のためのスクール事業・ママこども食堂や子育て相談会の実施・シェルター運営・パントリー運営・公営住宅を中心とした地域のコミュニティ形成支援・被災した母親への内職仕事の提供等を、地域住民・企業やNPO、行政等と協働し取り組んでいます。

認定NPO法人 Switch



Voice ユースサポートカレッジ受益者

以前は自分の考え方や殻に閉じこもっていて、適当に就職しようと考えていました。けれど仙台NOTEに来て様々な年代の方と話したり、講座に出たりすることで自分の凝り固まっていた考え方が柔らかくなった気がします。働いた経験がなかったので、職場体験は自分にとってとても良い経験でした。(10代男性・就職 利用期間10か月)

主な活動内容

宮城県仙台市、石巻市で、若者の就労支援、修学・進路支援を実施。メンタルヘルス・福祉を強みに、ウェルビーイングの実現と持続的な地域づくりをしています。ユースサポート部門では、若者への居場所提供やキャリア支援、学校への校内Caféを実施。就労支援部門では、障害福祉サービスでの精神・発達障害を専門にした就労支援、障害者雇用支援、休職者支援。他、企業支援、メンタルヘルス普及啓発などを実施。

NPO法人 寺子屋方丈舎



主な活動内容

- ・フリースクール/通信制高校・トレーラー事業(不登校の子供の教育機会の提供)
- ・環境教育事業(「自遊学キャンプ」「冒険ひろば」など学校外の遊びの場を通じた能動性・コミュニケーション能力の育成)
- ・こども食堂事業(会津若松市3地区におけるこども食堂の運営)
- ・被災者支援事業(大熊町のこどもたちへの放課後居場所事業)、他

Voice インターンシップ参加者

- 場の雰囲気が「教室」というよりも「秘密基地」のような印象を受けた。大人に見守られておるけれど、一人一人が自由にリラックスした状態だった。
- スタッフと話をしていて、絶対に否定から入らないで共感して下さる方が多かったので、とても話しやすかったです。
- 少し身構えていたが、話をしてみるととても良い子たちだった。話しやすかった。

NPO法人 食育研究会Mogu Mogu



主な活動内容

食べるモノも情報もあふれる現代。好き嫌いから日本の伝統食まで全部ママの責任?なんて無理、無理。そんな思いのママたちが集まって始めました。だから、まずは子どもたちと一緒に自分たち大人も体験するところからスタートします。大切にしていることは一次体験、つまり自然の食べ物と直に触れあうことです。そして、食べ物のプロや先輩に直接、どんどん教えてもらう。失敗も笑い飛ばしながら「ニコニコ、だいたい、いろいろ」と体験を重ねていくNPOです。

Voice イベント参加者(大人の声)

- 収穫体験だけでなく、生産者の「心」を知る会、貴重でした。
- いつも子どもがやる気満々で興奮するほど楽しんでいます。食育にもよく、家でもお手伝いをしてくれますし、自分で収穫した野菜はよく食べます。
- ソーセージのでき方を知った息子が「じゃあ、あれは?」と新たな不思議が生まれ、これぞ食育だなと感じました。

Voice イベント参加者(子どもの声)

- 料理を作るときに、おいしくなってねと思いながら作ることが大切とわかった。

認定NPO法人 育て上げネット



Voice プログラム参加者

自分の性格や今の状態のことをわかってくれて「この仕事は〇〇が厳しいよ」とか「こっちは社保があいまいだね」とか、読み飛ばしてたところも踏まえて話してくれました。普通に面接応募すると、ひきこもってたことを説明しなきゃいけないんです。練習しますが、納得してくれる人ばかりじゃないんです。育て上げネットが見つないでくれた会社は、この人たちが紹介するなら悪い会社じゃないだろうって思えました。

主な活動内容

すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会を目指す認定特定非営利活動法人です。若者支援を「社会投資」ととらえ、無業の状態にある若者の就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」や、その保護者の支援、学校やコミュニティ向けの教育支援プログラムを実施しています。また、地域社会・行政・企業と連携した支援者の育成など、多岐に渡る活動を展開し社会全体で若者を支える土壌を創っています。

認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ



Voice こども食堂運営者

新型コロナウイルス対策緊急プロジェクト「こども食堂基金」は、支援の大きな支えとなりました。ひとり親家庭へのお弁当配布、楽しいプログラム企画を実施し、コロナ禍でも繋がりを断つことなく笑顔に会える時間を持つことができました。また、地元のスポーツチームとのお縁もいただき、バックヤード見学と試合観戦もできました。今後も「結び会う」取り組みをよろしくお願い致します。

主な活動内容

むすびえは、こども食堂の支援を通して誰もとりこぼされない社会をつくりたいという思いを持って活動をしています。各地域のこども食堂ネットワークを支援すること、何か社会に貢献したいと考えている企業・団体とつながりこども食堂へ支援を届けること、調査・研究をし、啓発をしていくこと。私たちは、3つの軸で、歩んでまいります。

一般社団法人 ことば



Voice ボランティア参加者

僕夏ではつねに、自分はなぜこの活動をしているのか、誰に何を届けたいのかということを考えさせてもらうきっかけを与えられます。そのため、団体のメンバーみんなが自分なりの想いをもって、活動に取り組んでいます。想いをもって活動に取り組むことの楽しさ、大切さを僕夏の活動、周りのメンバーから学びました。それが僕夏から得られたことです。

主な活動内容

私たちは「自分の人生を1からデザインする楽しさで溢れる社会の実現」に向けて、学童期から自己肯定感を低下させず、世代ごとに必要なサポートを継続的に実施することが必要だと考えています。当団体では、小～大学生までの各ライフステージにあわせたさまざまな活動を行っており、その活動を通して自己実現のサポートをしたり、若者が社会活動に接するための手引きを行ったりしています。

認定NPO法人 Teach For Japan



Voice フェローシップ・プログラム参加者の教え子

先生(フェロー)に出会う前は、挑戦してみたい事があっても勇気が出ず行動に移す事ができませんでした。しかし、中学3年生の時に先生に出会い、先生が挑戦してきた事や新任教員として頑張っている姿を見て、私は勇気を持って一歩踏み出そうという力を持つ事ができました。私も先生のように生徒の一人ひとりの気持ち・個性を大切に、小さな影響を与え、将来大きく羽ばたき堂々と輝いている生徒の姿が見たいと実感しました。

主な活動内容

すべての子どもが、素晴らしい教育を受けることができる世界の実現を目指し、教育をより良くしたいと考える多様な人材を、教員免許の有無に関わらず選考し、これからの時代を見据えた教師としての資質・能力を、研修を通して育みます。そして、自治体との連携により、様々な教員免許状を活用し、2年間「教室」に送り出すフェローシップ・プログラムを実施しています。

公益財団法人 日本財団ボランティアセンター



Voice ボランティア参加者

コロナ禍の中、背景の違う刺激的な人と出会うことは、大学の中にいるだけではなかなか難しいということが、活動参加の動機でした。最初はどんな人がいるんだろうと緊張しましたが、皆さんフレンドリーで優しくかったので、スポーツ大会の運営サポートが楽しくできました。年齢も性別の違う人たちとの交流がとても刺激的で、初対面の人たちと、一つの目標に向かって協力していく経験は今後の人生にも活かせそうだなと思いました。

主な活動内容

日本に新しいボランティアカルチャーをつくることをミッションに掲げ、個人の興味・関心や能力に応じたボランティア活動機会の提供や、様々なスキルを習得できる独自のセミナーを実施しています。また、ボランティア団体へのサポートやボランティアに関する情報発信などを行いながら、より充実したボランティアライフをサポートしています。

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会



Voice 会員

同じ地域に住む、ピティナの地域の事務局運営を担う会員の先生との出会いが、私がピティナに入会するきっかけとなりました。そこから生徒がコンクール・合同発表会に挑戦するようになり、私自身もセミナーや検定への挑戦と、どんどん学びの視野が広がって、指導の幅も広がっていきました。引き続き、自身の学びをやめることなく、学んできたことを生徒の指導や演奏の研鑽につなげていきたいと思っています。

主な活動内容

全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)は、ピアノ指導者を中心とした音楽人材のネットワーク組織です。17000人以上の会員とその生徒、全国600以上の拠点に「つながり」を広げ、ピアノコンクールや合同発表会、アウトリーチ事業、音楽データベースサービスなどを拡充してきました。近年は自治体・企業・NPOなど、様々な組織との協働による「豊かさ」の実現を目指し、地域コミュニティの支援や学校教育との連携を推進しています。

NPO法人 じぶん未来クラブ



Voice 表現教育参加者の保護者

1日が終わるたびに明日は行かない!と言っていた子が終わった瞬間からまた行きたい!楽しかったと自分から言っていました。こんなことは初めてだったので、みんなが彼の個性を受け入れて認めて、思いやりを持って接してくれたのかなと感じました。ありがとうございました。

主な活動内容

世界共通言語である音楽を通して、受講生の「自己肯定感」を育み、「新たなことに挑戦したい」という意欲を駆り立てる「生きる力」そのものを育む表現教育プログラム。本気の大人と次世代の出会いをコンセプトに全力で取り組みひとつのものを作り上げるキャリア教育プログラム。これらを通じて子どもたちに比類のない体験学習の機会をお届けしています。

NPO法人 あそびと文化のNPO新宿子ども劇場



Voice 鑑賞会参加者

今回初めて、親のひざ上でなく他の子供たちと一緒に前にすわって観ていました。迷惑行為がないかハラハラしながらうしろにいましたが、とても楽しんで観ており来て良かったなあと思いました。親としても、迫力満点な内容で人形劇ってすごいなと感じました。

主な活動内容

子どもの年齢に合った舞台鑑賞を定期的に行っています。アーティストによるワークショップや交流会など見るだけではない出会いの機会があります。乳幼児や小学生が気軽に参加できるよう区内の公共施設や学校施設を会場に鑑賞会や体験活動を行っています。その活動は関わる子どもから大人までの「やってみたい!」からスタートします。そして赤ちゃんから孫のいる世代まで、幅広い年齢で活動し、地域で安心して子育てできる仲間づくりも出来ます。

公益財団法人 ハーモニセンター



Voice キャンプ参加者の保護者

娘はいつもキャンプから帰るなり、既に次のキャンプに気持ちが向いていて、ハーモニセンターのキャンプが心の拠り所になっています。弾けるような笑顔だけでなく、馬と向き合う真剣な表情もたくさん見られるキャンプの写真からは、日々のプレッシャーから解放されて素に戻っている娘が見えるように思います。全力で子どもたちと関わってくださるスタッフとカウンセラー（ボランティアリーダー）の皆さんに感謝します。

主な活動内容

当会は「(当時の社会問題であった)少年非行の予防には、子供たちの周囲にハーモニした人間関係の輪を拡げることが必要」と、1961年にボランティアサークルとして生まれました。子供会活動や施設訪問を皮切りに、60余年を経て、その活動は大きく拡がりました。現在は2か所の牧場、5か所の子供動物広場を拠点として、「Riding for All」を合言葉に、子供達の居場所作り、自然体験活動の提供、若者の活躍の場作りなどを行っています。

認定NPO法人 キーパーソン21



Voice プログラムを受けた子どもの声

- 自分のやりたい方向が見えた気がしてドキドキした。これまで素直じゃなかった自分がいた。
- 自分のわくわくエンジンを見つけたことで、これからどんなことでやる気を出せるか分かりました。
- 「自分のことだから自分で考える」っていつも言われていたけど、いっしょに考えてくれる人がいて、やる気がでた!

主な活動内容

2000年の設立以来「誰もが自分を活かしていきいきと仕事をして生きていくことができる社会」を目指して活動する教育NPOです。＜主役は子ども、きっかけは大人＞を合言葉に、家庭、学校、塾、企業、行政、地域のNPOなどと協働し、オリジナルの教育プログラムを通して、自ら動き出さずにはいられない自分だけの原動力「わくわくエンジン®」を発見し、自信と勇気をもって踏み出すことを応援する活動をおこなっています。

NPO法人 とよなかESDネットワーク



Voice 子どもの居場所ネットワーク参画団体

居場所の立ち上げから運営、日頃のお悩み解決まで丁寧にサポートしてもらっています。学校や地域と繋いでもらうことで、地域から信頼される居場所として運営できています。学生ボランティアの紹介や地域資源(人材バンクや寄付など)との繋ぎなど、新たな協働にも期待しています。

主な活動内容

私たちTENは、ESD(持続可能な開発のための教育)が10年を迎えた2016年に発足。体験を通じた学びの場づくりを行なっています。子どもたちが様々なことを子ども自身で選択できるような地域を、子どもたちも大人たちも私たちが楽しみながら創れる、そんな豊中をめざし、子どもの居場所運営や市民活動センターの運営などを行なっています。

認定NPO法人 兵庫子ども支援団体



Voice LINE相談を行った高校生

以前、相談させていただいたときに真剣に話を聞いていただいたのが、とても良かったです。そのおかげで、体調も回復してきているので今後また何かあったら、相談させていただきたいです。

主な活動内容

「子どもが笑って過ごせる地域の形成」を目指して、2013年11月に高校生有志によって設立されました。2017年1月にNPO法人として認証、2021年2月に特例認定NPO法人として兵庫県より認定を受けました。これまでに、学習支援や子どもの居場所づくり、体験・経験活動、オレンジリボン運動など子どもに関わる活動を多岐に渡って展開しています。

NPO法人 こども未来ネットワーク



Voice 夏休みボランティア体験事業 アナログゲーム体験会の受講者

みんなで協力するゲームを多くやったのですが、ルールもしっかり聞いてくれたし、お互いにアドバイスしながら、上手にできていたのうれしかったです。(高校生ボランティア)



Voice コンサートのオンライン配信 事業公募の参加者

コロナ禍で人との関わりが減っている中、歌ったり体を動かしたり、集中して楽しめ、じっと座ったり静かに聞いたりすることが 苦手な子どもも、リモートなら安心して参加することができました。「たのしい歌や、がっそうがきけて、よかった」「おもしろいところもあってよかった」(子ども)という声も聞かれ、またぜひやって頂きたいです。(児童養護施設職員)

主な活動内容

子ども達に豊かな子ども時代を過ごして欲しいと願い、文化芸術体験や心弾む遊び体験の場を設けると共に、そうした場作りが県内各地で継続的に実施できる仕組みや人的ネットワークづくりをめざし活動しています。幼い時にこそ、心の深いところを揺り動かす「ほんもの」との出会い、人のぬくもりが感じられる体験をしてほしい。私たちの活動がその手助けとなることを願っています。"つもれ つもれ こころのえいよう"

認定NPO法人 ポケットサポート



Voice 保護者からの声

中学3年生の娘は思春期ということもあり、周りから特別なサポートを受けることをあまりよく考えていませんでした。でも、同じように闘病しながら頑張っている仲間がいることや、学校の先生だけでなくポケサポさんや教育委員会の方など応援してくれている方がいることを知り、今では病気でも前向きに一歩ずつ行動ができています。



Voice イベント参加者からの声

今後も病気の子どもの学習や自立などの支援活動を進めながら、実践ノウハウや個別相談事例を蓄積していき、全国規模で同じようなサポートが広まっていくためのリーダー的な立ち位置になることを期待しています。

主な活動内容

病気を抱える子どもたちを対象に病院や自宅に訪問して学習・復学支援を行っており、入院中から退院・復学まで継続的な支援を展開しています。当事者同士が集い、普段できない体験を提供する場として室内での夏祭りやクリスマス会を企画したり、悩み相談(ピアサポート)を行うことで、子どもを含めた家族全員が安心して暮らせる社会の実現を目指して、大学生ボランティアなどと連携しながら活動の幅を広げています。

認定NPO法人 ハーモニーネット未来



Voice フード&ライフドライブ活動 「てとて」の登録者

母子家庭と介護で働きにも行けず、毎月とても感謝しております。帰宅して子どもと持ち帰った物を一つずつ出しては喜んで、毎月の笑顔の時間を楽しみにしています。出掛ける事も無く楽しみも無い生活の中、喜びを感じられる日。「あ!ちょうど切らしていたな!」って思っていたものがフードバンクの日に頂ける事もあり本当に毎月助かっています。普段なかなかお礼をお伝え出来ず大変恐縮ですが、日頃より感謝の気持ちでいっぱいです。

主な活動内容

私たちがめざすもの『ふれあいたすけ愛(地域共生)社会の創出～子どもから高齢者まで安心して自分らしく～』
1987年、子どもたちの心豊かな成長、発達を目的に設立、活動を積み重ねるうちに、子どもにとってのより良い環境は、子どもから高齢者、障がい者、若者、今を生きるすべての人が安心して自分らしく生活できる地域共生社会だと気づき、活動が広がってきています。

認定NPO法人 こどもステーション山口



Voice 会員

私が『山口おやこ劇場』にお世話になり始めたのは35年前。活動は、生活の一部でした。舞台では、迫力に圧倒され、興奮が収まらなかった感覚を鮮明に覚えています。こんな経験を我が子にも!と思っていたので、子供が産まれたら入会することを決めていました。そんな子供も7歳。舞台を見て「吸い込まれて、夢中になっちゃった」や「やってみて良かった!」という感想を聞けるようになってきました。こどもステーション山口は、目で見て、耳で聞いて、体と心を動かし、頭を回転させ、全身をフル回転できる環境だと感じています。これからも、親子ともども沢山の経験を重ねさせていただきます!

主な活動内容

子どもたちがさまざまな体験とたくさんの人との出会いの中で豊かに成長できるように活動をサポートしています。こどもまつり、いちにちプレーパーク、こどもキャンプ、中高生グループ活動など子どもたち自ら企画する活動と、プロの舞台芸術鑑賞を行っています。いちどきりの「子ども時代」を“心ゆたか”に。

認定NPO法人 もりのこえん



主な活動内容

私達は、2014年11月森のようちえん「もりのこえん」を立ち上げ、2017年10月上天花町での活動を開始。同時に「子どもとその育ちに関わる全ての人に対して、自然体験活動を主とした子育て支援に関する事業を行い、子育てを支え合い、誰もが尊重され生きる喜びを感じられる社会を目指すこと」を目的とし法人化。2018年4月からは全ての世代の人に対する自然体験活動事業を開始しました。

Voice 地域の方

- 子どもの声が聞こえるだけで元気が出る。
- 地域の清掃活動など、高齢で続けることが難しいと思っていたことが、若い人たちの力で、続けることが出来ている。

Voice 保護者

- 自然への興味を親子でもつようになった。
- 生き物(特に虫)が好きになった。
- 人の気持ちを想像できると、学校に行ってもよく褒められます。

認定NPO法人 わははネット



主な活動内容

「香川から子育てをもっと楽しく!」をモットーに、子育て支援活動を実施。地域密着型の子育て情報誌「おやこDEわはは」の発行や、親子の集う子育てひろばを県内4拠点で運営。子育て家庭の困りごとに直接かかわる事業の他、子育てを担う人材育成や、働き方改革など子育ての環境を改善するための事業も多数実施している。2022年4月から、多くの人に見守られながら子どもが体験活動が広がる『讃岐おもちゃ美術館』の運営を始めている。

Voice 子育てひろば利用者

双子を妊娠中に、実家の沖縄から転勤で高松に引っ越してきました。実家から遠く離れ、誰も頼る人がいない中、市役所の多胎児相談で聞いて見学したのが、わははネットのひろばとの出会いです。スタッフの方はいつも温かく迎えてくれ、ひろばのイベントを通して同じ多胎児を育てている仲間とのつながりもできました。多胎児ならではの悩みを分かってもらえる、それだけで少し元気が出ました。我が家はまた東京への転勤が決まってしまう。コロナ禍での転勤は不安しかありませんが、スタッフさんや仲間の支えで前向きに考えられています。

認定NPO法人 とす市民活動ネットワーク



Voice 木もくひろば参加者
木育推進員養成講座参加者

- たくさんの積み木に子どもも大喜びで親子でいつも楽しんでいます。
- 木育について広く学ぶ事ができました。
- 木育推進員養成講座は最高に内容の濃いわかりやすい講座でした。「どんなものかなあ?」と思いながら今日は来ましたが、新しい人とも知り合いになれて、皆さんのいろんな考えが聞けて、また、先生にも森林の現状を聞いてとても勉強になりました。
- 授業で習った事や、初めて知ったことがあって、聞いてとても楽しかったです。相手に説明するのは大変だし、ドキドキしたけど良い経験になった。(高校生)

主な活動内容

当法人は、企業、行政、大学等と連携しながら、県産材の利活用と森林保全を目的に「木育」活動を実施し、子ども達をはじめとする人材育成を行い、又、佐賀県東部地域での草の根の市民活動を応援するために「NPO応援GO!GO!基金」を設立するなど様々な活動を通じて持続可能な社会づくりの実現を目指しています。

NPO法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい



Voice 居場所利用者

- 話し相手ができる。これからもたくさんの人の居場所になってほしい。
- 人と話せるようになった。
- いろんな人と一緒にゲームができたり、スポーツができたり、ひとりだとできないことができる。
- いろんなことにチャレンジすることができる。
- 家で何もやることがないから寝ていることが多かったが、kukuluに通うようになって活動する時間が増えた。人とのかかわりが増えてうれしかった。

主な活動内容

沖縄県的那覇市とうるま市にて子どもの若者の居場所を運営しており、ちゅらゆいの居場所には、不登校・ひきこもり障害を持つ若者などの利用者が通っています。各居場所では、相談業務、アウトリーチ及び定着支援、出口支援を行っています。



茨城県

<http://www.npocommons.org/>

認定NPO法人 茨城NPOセンター・commons



Voice 「グッジョブセンターみと」利用者

- 30年以上ひきこもっていましたが、ようやく外に出て、グッジョブセンターみとが行う就労体験を続けられるようになりました。
- 中学1年の春から不登校でほとんど学校に行かなかったが、中学卒業後、グッジョブセンターみとに2年間ほぼ毎週通い、その後高校に入学できました。その後もグッジョブセンターにはお世話になり、高校を卒業することができました。

主な活動内容

- ①セーフティネットのインキュベーション（ひきこもりがちな市民の居場所づくりと中間的就労、生活困窮者の就労・家計相談、外国ルーツの子どもの保育園運営や教育支援、外国ルーツの市民の生活相談対応等）、②ネットワーク化（市民活動団体や行政、企業の協働促進、子ども食堂支援等）、③担い手の育成（NPOの相談対応や研修、会計サポート等）、④活動資源の仲介（いばらき未来基金事務局の運営等）に取り組んでいます。

認定NPO法人 消費者スマイル基金



主な活動内容

2022年版消費者白書によると、過去1年間に購入した商品や利用したサービスで消費者被害・トラブルを経験した消費生活相談85.2万件にのぼります。また、2021年度1年間の消費者被害・トラブルに関する商品・サービスへの支出総額は推計約5.9兆円と言われてます。国の認定を受けてこうした被害の拡大を防ぐ活動を行っている適格消費者団体が23団体、そのうち、被害回復もできる特定適格消費者団体が4団体です。泣き寝入りが多い消費者の被害防止・救済という公益的な活動を、ほぼボランティアで行っている団体等に、活動資金を助成するのがスマイル基金です。

Voice 助成支援団体

当法人は、この間継続して事業者の不当な規定等について差止請求を行っておりますが、弁護士費用を減額せざるを得ないこともあり、消費者スマイル基金から助成していただき大変助かりました。適格消費者団体が継続して活動していく上で、消費者スマイル基金はとても必要な存在であると思っております。

認定NPO法人 日本ファンドレイジング協会



主な活動内容

日本ファンドレイジング協会は、寄付・社会的投資が進む社会の実現を目指しています。日本ファンドレイジング協会は、2009年に日本全国47都道府県から580人の発起人の賛同を受け、寄付・社会的投資が進む社会の実現を目指して設立されました。民間非営利組織のファンドレイジング(資金集め)に関わる人々と、寄付など社会貢献に関心のある人々のためのNPOとして、認定ファンドレイザー資格制度やファンドレイジング・日本、子ども向けの社会貢献教育、遺贈寄付の推進、寄付白書の発行などに取り組んでいます。

Voice 研修・イベント参加者

非営利セクターの大きな課題である財源について、ファンドレイジングの思考を基礎から応用、実践など体系的に学ぶことのできる場が今まではほとんどありませんでした。協会の資格制度で学ぶことで、財源確保の手法だけでなく、課題解決のための組織・事業戦略を一体化した計画づくりのプロセスを学ぶことができました。また、多くの仲間とつながる2000名規模のファンドレイジング・日本(FRJ)のカンファレンスの場やオンライン研修は自分自身のモチベーションを上げるとても有効なものになっています。

NPO法人 アートコラールきくがわ



Voice 相談者

地域で学習支援、居場所づくりの活動を始めたくて相談に行きました。最初に活動の目的を聞いてくれ共感してもらったことで安心感を覚えました。実際の伴走支援では、やり過ぎず足りなさ過ぎず、必要な支援と団体の自立性の棲み分けが絶妙でした。課題に対して批評・批判ではなく、問題点を具体的にまとめてくれることで、今後の活動への意欲が持てました。中間支援の視点で、人材の紹介や行政、教育委員会、社会福祉協議会などにつなげてくれるなど、これらの支援は地域で活動するには欠かせない存在だと感じました。

主な活動内容

「出会いとつながりをデザイン」をモットーに、中間支援団体として、市民・市民活動団体と、行政・企業・学校などとの協働をコーディネートすることにより、まちの活性化につながる活動を支援します。また、地域の創造的な芸術文化活動を通して、アートのチカラで地域を元気にし、魅力あるまちづくりに貢献します。

NPO法人 きょうとNPOセンター



Voice 「特別定額給付金の地域公益活動の支援につなげる」フォーラム参加者

このフォーラムに参加して、それぞれ実践の場(パネリスト:中間支援団体・現場活動団体・金融機関)ならではの具体例が報告され、自団体の今後の社会課題解決への参考になりました。

現場活動団体から「市民活動は借り物競争」という言葉がありました。多くのNPOがともすれば勘違いしているかも知れませんが、選ばれるNPOとしての「競争」概念を避けるべきではないと実感しました。

主な活動内容

きょうとNPOセンターは、中間支援組織として、行政や企業を含め市民社会を構成する組織の中間的な立ち位置で、それぞれを牽引してきました。日本初のNPOが運営するコミュニティFM局「京都三条ラジオカフェ」、コミュニティ財団「京都地域創造基金」、非営利組織の評価認証専門機関「社会的認証開発推進機構」など『市民が支える市民社会の実現』を目指し、京都発、全国初の挑戦と新たな社会機能・組織・人材輩出の取組みを行っています。

NPO法人 ひろしまNPOセンター



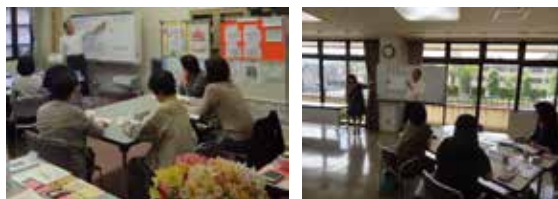
Voice NPO狩留家理事長 黒川章男様

NPO狩留家の設立準備の時ひろしまNPOセンターを訪ね設立手続きを教えていただき、高齢者夫婦で設立できた。その数か月後、狩留家の町おこしの為に「水車小屋を建設しよう」と思い立ったが資金がない。相談したところ、ある団体を紹介いただき、応募して数百万円の水車が出来た。それから7年、狩留家なす物流センターの構築の必要性が出てきた時、休眠預金等助成金の応募に挑戦し選定された。この大型助成金運用の伴走をして頂いています。私にとってひろしまNPOセンターは何時でも相談に乗っていただける守護神です。

主な活動内容

1997年設立。民設民営のNPO支援センターとしての専門能力を活かしながら率先して行動し、立場・分野・地域・世代の垣根をこえた参画と協働を促すことで社会連帯を育み、社会の問題解決や価値創造を図ることを通して、SDGsや国際平和に貢献し、持続可能でゆたかな市民社会を実現することを目的に活動しています。

NPO法人 やまぐち県民ネット21



Voice 「監事の役割」セミナーの受講団体

これまでNPO法人として普通に監事を設けて、標準的な監査を受けてきたと思っていたが・・・今回のセミナー受講により自分がこれまで「監事」という役職に抱いていたイメージが覆され、満足度の高い学びが得られた。特に、これまで自分たちが監査と称して取り組んでいたことは本来的な意味の監事業務のほんの一部であることが理解できた。日常の業務や活動現場のことをもっと監事に知ってもらったり、そのために事務局として業務に関する報告や資料提供を適宜行ったりせねばならないことがよく分かった。

主な活動内容

当法人は、自主的・主体的な県民活動（ボランティア活動・NPO活動・コミュニティ活動）などの支援を目的とし、日ごろは情報の受発信・相談対応・研修の企画開催・交流の機会提供などを行っています。また、官民やセクター間を乗り越えた団体・組織のネットワーク化や、公益に資する活動とその担い手がつながり連携することを促すための事業等に取り組んでいます。

一般財団法人 ちくご川コミュニティ財団



Voice 「子ども若者基金」の助成を受けた団体

私たちは、アート系NPOです。ちくご川コミュニティ財団の「子ども若者基金」があることで、困難を抱える子どもへの人形劇観劇支援をはじめることが出来ました。どんな子にも楽しい観劇機会を提供することは、公正な体験機会を保障することにつながります。この事業を支えてくれる子ども若者基金。それは子どもの笑顔を生みだすお金です。たくさんの子どもの笑顔が生まれることを祈っています。

主な活動内容

九州最大の河川「筑後川」が流れる関係地域で、NPOなどの市民活動に取り組む方々をサポートする中間支援組織です。「人の役に立ちたい」という思いを、資金面・非資金面の両面で伴走支援しています。休眠預金等活用事業をはじめ、遺贈寄付をもとに設立した「子ども若者基金」、水害支援基金等で助成総額は8700万円を超えました。市民が主体的に公益を担う社会の実現を目指して貢献します。

公益財団法人 佐賀未来創造基金



Voice 入学応援給付金受給者

寄附して下さった方へ。コロナウイルスが猛威を振るい世の中が大変な中「入学応援給付金」にご寄付戴き、有難うございます。高校入学においてとても助かりました。今、僕は受験した高校に合格し、自分の障がい(自閉症スペクトラム)と向き合いながら毎日一歩ずつ楽しく過ごしています。これからも楽しいこと、つらいことがあると思いますが、遠回りしながらでも自分のペースで挑戦したいです。度々になりますが「入学応援給付金」にご寄付いただき有難うございます。

主な活動内容

市民や企業の皆様から寄付金を集め、市民活動団体やボランティア団体に活動資金を助成しています。一昨年から「子どもの未来応援プロジェクト」で、高校入学を迎える中学3年生を対象に、入学に伴う経済的負担軽減のための、返済不要の給付金を支給するプロジェクトを実施しています。

NPO法人 Fineネットワークながさき



主な活動内容

任意団体での活動を経て2014年にNPO法人として設立しました。ひとり親家庭の新一年生の子どもたちへ企業や他法人と協働しランドセルを贈る「夢ランドセル事業」や、NPO法人の基盤強化を目的とした組織力強化事業などを行っています。また、県民ボランティア活動支援センターを受託し県内のボランティア活動の推進のために、NPOと市民を繋ぐ役割を持つ中間支援として長崎の未来をより良くしていく活動を行っています。

Voice 夢ランドセル事業 ランドセル受贈者

- 決定通知書を子どもと見て一緒に喜びました。「学校に行くのが楽しみ」と大変喜んでいますが、本当にありがとうございました。
- 一日一日の生活でいっぱい、助かりました。子どもも「やったー」と大きな声で喜んでいました。

Voice NPO組織力強化事業 支援団体

- 自分たちの課題が明確になって、他のスタッフと共有できました。解決の手順も分かりやすく、役割分担もしやすくなりました。事業として整理整頓ができました。支援を受けてとてもよかったです。

ご支援をお考えのみなさま

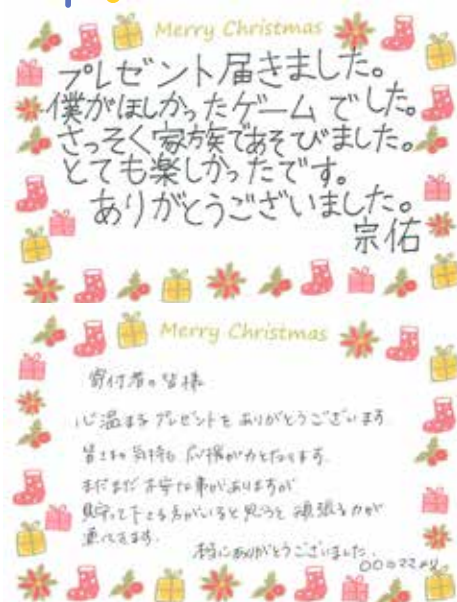
チェックポイント！

「いままで寄付をしたことがない」、「寄付をどこにすればよいのか分からなかった」など初めて寄付をする方にグッドガバナンス認証団体をおすすめしています。応援特集ページ

<https://jcne.or.jp/gg-donation/>

- ✓ 寄付金の使いみちを明らかにしています
- ✓ 寄付者の方へ活動結果を報告します
- ✓ 不正を防止する仕組みがあります
- ✓ 安定して運営されています

たくさんのご支援ありがとうございます



病気を抱える子どもと家族に元気を届けるポケサポ応援団

毎年、寄付件数は増え続けていて今年は約200～300個の箱を開封しました。全国から届く温かいご支援に感謝申し上げます。全国の応援団とつながるきっかけになると同時に、小児がんや心臓病などの病気を抱える子どもたちの状況や社会課題を知って頂くきっかけになっています。そして、その思いはプレゼントを受け取った子どもたちやご家族にとっても元気や勇気となって届き、SNSを通じて嬉しいコメントを載せていただくことも増えました。岡山市を中心に活動をする小さなNPOですが、全国の皆様に支えられています。

「応援してよかった」と感じられる寄付体験向上のために

今後は寄付者の方とのコミュニケーションを維持するために、寄付金受領証明書の発行と合わせて子どもたちから届いたクリスマスカード（御礼メッセージ）を同封してお送りしたり、メールマガジンによる活動報告、来年のクリスマス前には今年もご支援をお願いするハガキ等を郵送して継続的なつながりを作っていきたいと考えています。



認定特定非営利活動法人

ポケットサポート
pocket support

認定NPO法人 ポケットサポート
Amazon「みんなで応援」プログラム参加団体



グッドガバナンス認証

グッドガバナンス認証団体一覧

認証審査委員会を経て誕生したグッドガバナンス認証団体を順次発表しています。最新のグッドガバナンス認証団体について、日本非営利組織評価センターのウェブサイトをご覧ください。 <https://jcne.or.jp/gg/>



Amazon「みんなで応援」プログラム ほしい物リストで笑顔をお届け



Amazon「みんなで応援」プログラム

グッドガバナンス認証団体が必要としている物品を、Amazon.co.jpを通じてサポートできるプログラムです。それぞれの団体が作成した「ほしい物リスト」から商品をご購入いただくことで、簡単に物資の支援が行えます。
<https://jcne.or.jp/2020/12/18/amazon/>

遺贈寄付特集

日本非営利組織評価センターは全国レガシーギフト協会と連携し、遺贈寄付を推進しています。遺贈寄付のプログラムを設けているグッドガバナンス認証団体をご紹介します。
https://jcne.or.jp/for_npo/legacy/

インタビュー連載

グッドガバナンス認証団体の運営のコツから最新の社会問題まで分かるインタビュー記事をCSR雑誌オルタナにて連載しています。連載記事一覧はこちら
<https://bit.ly/3rWyZBM>

企業のみなさま

グッドガバナンス認証制度と連携・協働を行う企業を募集しています。グッドガバナンス認証制度との連携をお考えの方は日本非営利組織評価センター事務局までお問い合わせください。

非営利組織のみなさま

グッドガバナンス認証の取得をご検討の方は、日本非営利組織評価センター事務局までご相談ください。

公益財団法人 日本非営利組織評価センター Japan Center for NPO Evaluation (JCNE)



お問い合わせ・ご相談先: office@jcne.or.jp

日本非営利組織評価センター(JCNE)は、非営利組織の組織評価を行う日本で初めての第三者審査機関です。高まる社会の要請とともに、非営利組織と支援を希望する人々が増加する一方で、非営利組織が日本社会の中で十分な信頼を得られていない現実があります。そこで私たち日本非営利組織評価センターは、非営利組織と支援者との架け橋として組織評価・認証の取組みを開始し、幅広い支援を継続的に獲得できる社会の仕組みに貢献することを目標に活動しています。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11-2 日本財団第二ビル3階
TEL:03-6457-9721(平日9:30~17:30)
<https://jcne.or.jp>



企画・デザイン: 北牧加代乃 イラスト: 富田マリー

各団体の活動内容は、認証した時点のものです。現在の活動内容は一部変更となっている場合があります。詳しくは団体に直接お問い合わせください。

